

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表				
児童発達支援 はぴじゅに首里城西校						公表日 令和7年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・異年齢を集めた集団活動の際、未就学児童と小学生で分けて小集団で活動できる個室がある。 ・一日定員10名が利用しても十分な広さがある。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・適切な人員配置になっている。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・活動スペースは、フラットになっている。	・施設内は、バリアフリー化されているが、建物の二階部分に施設があり階段を登らないといけない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・集団で遊べる活動できる部屋や個別支援がしやすい部屋が分かれている。ニーズに合わせた対応がしやすい。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・大部屋が2つと個室が4つあるので、活動に応じた対応ができる。 ・防犯カメラや壁上部が透明アクリル板になっているので、死角が出来にくい。見守りがしやすい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	3	・月に1度会議を開き、先月の振り返りや当月の目標設定を行っている。	・全くできないわけではないが、もう少し話し合いの頻度を多くしていき、次年度に向けて改善する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	・評価表のみならず、LINE等で意向を確認する機会を設けている。	・今回が初めて職員が多く、アンケートを集計した後に改善に向けて職員と共有していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・週次、月次で会議やミーティングを実施し、議論して改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	・第三者による外部評価を行っていないが、外部からの相談事業所の職員や見学者などが来所している。ご意見BOXを設置している。	・第三者による外部評価ができないないが、必要に応じて行っていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・外部研修の参加や職員勉強会を開催し、研修を行っている。	・開催しているが、支援方法や種類について次年度に向けて増やしていく。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		・令和7年3月14日公表済
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・一人ひとり、ガイドラインの手順を参考に個別支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・児童発達支援責任者が、支援計画を更新する都度原案を制作後、個別支援会議を開催している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・前回の支援記録や計画を参考しながら振り返りを行っている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・前回の支援内容の振り返りを行う時間や日々の支援前に相談を行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	・児童発達支援管理責任者が、療育の5領域に合った個別支援計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	・保育士経験のあるスタッフがいて、未就学児童への活動プログラムを組む事ができる。	・チームでの立案ができるよう次年度に向けて、改善する。

供 18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	・各週で、活動プログラムを組んでいる。	・プログラム立案する職員が偏りがあるの で、新年度に向けて色々な活動を組めるよう 改善する。
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	・個々の児童発達支援計画を参考に活動における課題点を決めている。また、個々の得意不得意を職員で事前に共有をしている。	
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・朝礼時や児童が利用する前にミーティングを行っている。	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・支援の振り返りは、翌日の朝礼後に職員で共有する時間を作っている。	
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	・都度、利用児童の送迎終了後、支援の記録を取っている。振り返りをするときも記録を参考にしている。	
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	・児童発達支援管理責任者がモニタリングの結果を職員に共有を行い、計画の見直しや更新を行っている。	
	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	・会議が開催されると毎回参加している。また、時間調整も行い参加できるよう職員で協力している。	
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・利用児童に必要な支援の為の関係機関と協力して支援している。	
	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	・一部行っている	・移行に向けた支援対象の児童がいなかつた。
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	6		・令和7年度で卒園する児童が多くなるので、今後していく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	(28~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)	0	7		・機会を設けていなかった。研修や勉強会等で、連携を図る機会を作っていく。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		・他のこどもと交流は、利用児童の保護者へ説明と同意が必要な為、慎重に検討する。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・日々、自宅への送迎時で保護者に会い、子どもの様子を申し送りするようにしている。	
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	・施設説明会で、発達障害について話す機会があった。	・ペアレントトレーニングや研修等の開催は行っていない。施設見学会の開催を予定している。
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約のとき、保護者に説明し同意を得ている。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・入所前やモニタリング等で、ニーズの確認やアセスメントをとっている。	
	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	・作成後や更新時に保護者へ説明を行い、同意を得ている。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	・保護者から支援の仕方や方法などの相談が多く、職員が都度対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7		・保護者会の開催をしていない。要望におおじて開催や活動の検討を行う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・相談や苦情等があれば、責任者や職員が対応を行うマニュアルを設置している。 ・電話問い合わせ以外にもLINEでの受付もしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・HPやインスタでの情報発信や保護者へLINEを使った情報提供を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・個人情報があるファイルは鍵付きのロッカーで保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・チラシや公文は、職員でダブルチェックを行い、見た目やわかりやすさを職員2名以上で確認を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・施設へお招きすることは少ないが、地域のお店や交流会への参加機会がある。	・地域参加型の活動も検討していく。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	・各マニュアルを査定を行った後に周知を行っている。	・周知は、保護者連絡または、SNS等を活用していく。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	4		・BCPの策定や更新時期をスタッフ内で見直しを行い、計画を立てていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・契約時、保護者へ確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		・今後は、協力医師と連携を強め勉強会や研修の開催を検討する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		・計画の策定はされている。訓練や勉強会を増やしていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		・新年度に向け、取組内容をスタッフで検討を行う。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・ヒヤリハット発生後、職員ミーティングで共有を行い、対策を検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	・研修を行ったあと、事例検討を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	3		・事前説明は、児童発達支援管理責任者が行っている。今後は、全スタッフができるよう研修を行う。